

## 北方森林学会会長就任にあたって

北方森林学会会長 嶋瀬 拓也

このたび北方森林学会会長に就任いたしました森林総合研究所北海道支所の嶋瀬拓也です。会長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

森林科学は、気候風土の違いに起因する森林自体の地域性や、その下で各地の森林関連産業・行政が現実には直面している諸問題のことを、よくよく考えて進められるべき学術領域です。その意味において、北方森林学会は、北海道というほどよい地理的広がりのもと、森林科学関連の研究者のみならず、産業界・官界さらには木質科学関連の研究者とも緊密な連絡・連携を取りながら、地域の諸問題を把握・認識し、その解決に関わっていくことのできる大切な場となっています。

私はこれまで、この会では、幹事として春季行事と大会を一度ずつ担当したのみで、評議員として選出されたのも今回が初めてですので、この大切な場の先頭に立つにはまったくの経験不足・役不足ですが、会に対するこのような強い思いだけは持っているつもりです。経験豊富な評議員や幹事の皆様、そして、会員の皆様のご支援もいただきながら、円滑な運営に努めてまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの研究・普及活動にも大きな影響を及ぼしています。しかし、世の中を見渡してみると、地域の森林関連産業・行政の現場も、我々が直面しているよりもはるかに大きな影響に晒されています。経験のない事態の中、学識経験者としての私たちに、社会への貢献が強く望まれているのではないのでしょうか。言うほどたやすいことではないと承知していますが、このようなときだからこそ、研究者一人一人が、いま求められていることをしっかりと見据え、社会の力としてご活躍いただければと願っております。この会がそのための一助となれるよう努力してまいりますので、どうかよろしく願いいたします。

(2020年10月)